



<https://www.shinwa-jpn.co.jp/>

Company Profile

商号	株式会社 進和
創立年月日	1951年2月12日
住所	〒463-0046 愛知県名古屋市守山区苗代2-9-3
資本金	9億5,110万円
事業内容	・ 金属接合関連商品および製品の販売 ・ 産業機械関連商品および製品の販売 ・ FAシステム関連商品および製品の販売 ・ 特殊溶接技術を要する補修工事および各種機械装置の修理工事
従業員数	グループ全体 1,070名 (2024年8月31日連結ベース)
上場	東証プライム(7607) 名古屋証券取引所(7607)

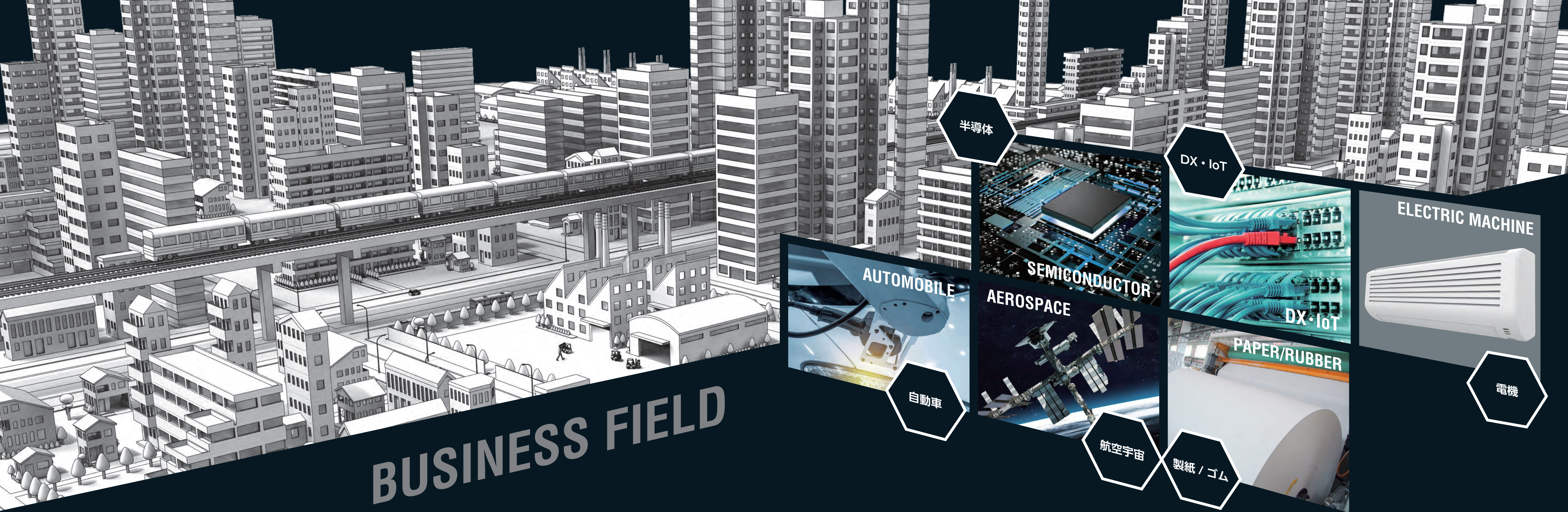


私たち進和は「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、SDGs達成に向けた取り組みを行っています。



世界をつなぐ 未来へつなぐ
Joining the World Joining the Future

株式会社進和／技術職向け採用案内



BUSINESS FIELD

半導体

DX・IoT

ELECTRIC MACHINE

電機

SEMICONDUCTOR

DX・IoT

PAPER/RUBBER

製紙 / ゴム

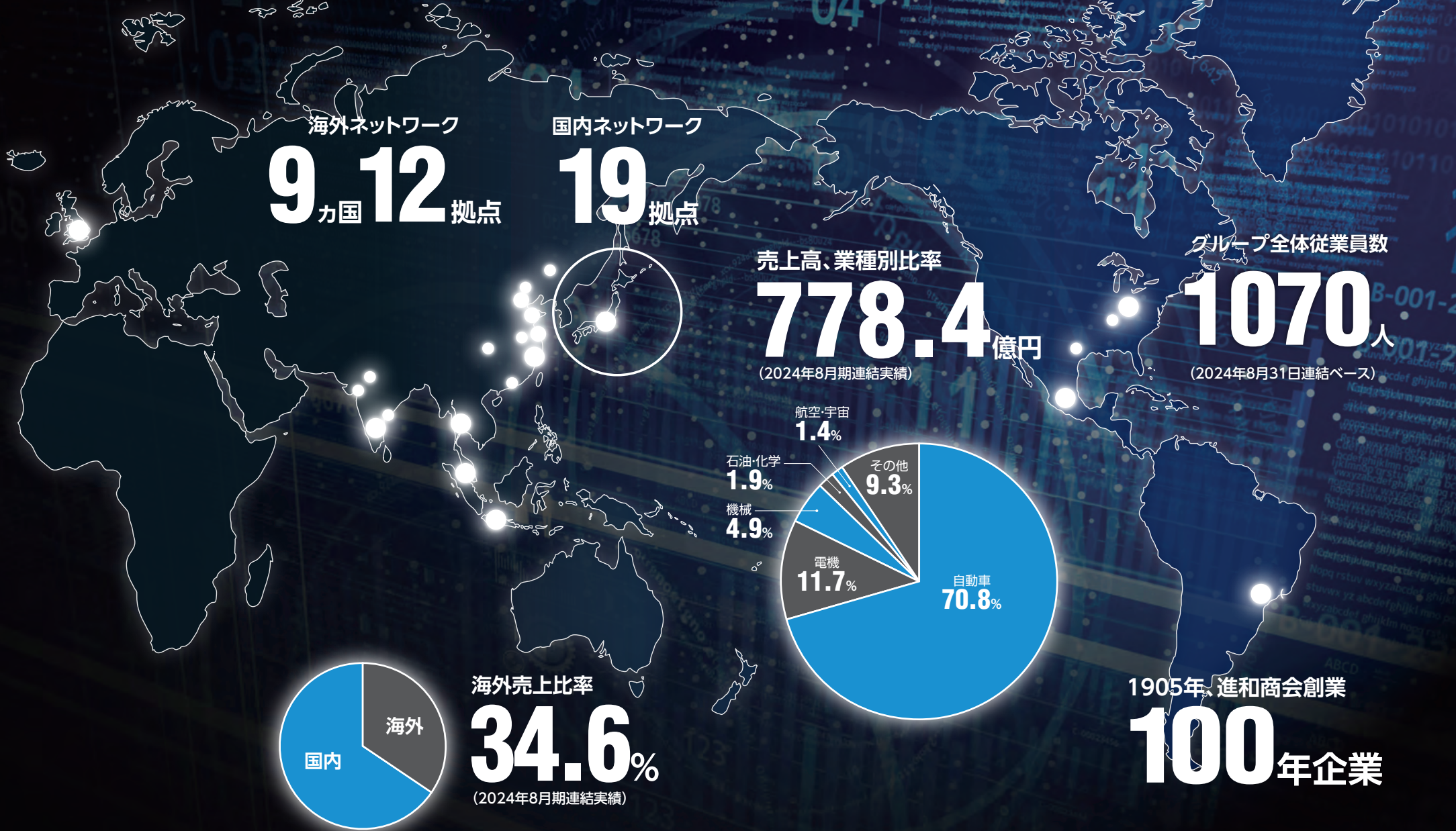
AEROSPACE

航空宇宙

AUTOMOBILE

自動車

NUMBERS in SHINWA



専攻・職種マトリクス

専攻		職種	機械系	応用化学・ 化学工業系	新素材工学系	電気・ 電子工学系	鉄鋼材料系	非鉄材料系	化学・ 高分子系	情報系	物理・数学系	その他
01 機械設計	機械・工法技術開発		●	○	○	●	●	●	○			○
	治具設計		●	○	○	○	○	○	○			○
	製品先行開発		●			○	○	○	○	○	○	○
	製品設計・開発		●			●	○	○	○	○	○	○
	電機設計		○			●	○	○	○	●	○	
02 情報通信	基礎研究		○	●	●	○	●	●	●	○	○	○
	ロボットインテグレーション		●			●				○	●	●
	DX 関連（シミュレーション）		●			●				●	●	●
	情報管理システム		○			●				●	●	○
03 生産技術	通信インフラ設計		○			●				●	●	○
	アプリ（試験研究・デモトライ）		○			○	○	○	●	○	●	
	化成品開発		○	●	●	○	○	○	●			○
	化成品・ろう材製造		○	●	●	○	○	○	●			●
	試作・量産対応		●	○	○	○	●	●	○			○
	生産技術・開発		●			●	●	●	○	●	○	○
	工場生産技術・製造海外工場支援		●			●	○	○	○	○	○	●
04 品質管理	機械オペレータ		●			●	○	○	○	○	○	●
	ソフト設計		○			●	○	○	○	●	○	
	品質管理		○	●	●	○	○	○	●			○
		品質保証	●			●	●	●	●	●	●	●

●：非常に適している ○：適している



MECHANICAL DESIGN

01 機械設計

カタチないものをカタチあるものへ

μm の精密機械から何 m もあるような大型の機械まで、思い描いた仕組み・機能を持った機械を具現化することが機械設計です。構想→概略設計→詳細設計と進めますが、その工程では CAD (製図ソフト) や CAE (解析ソフト) を活用します。設計の出来栄が、生産効率やコスト、製品の性能にも影響を与える各工程の上流に位置する仕事です。



モノづくり企業に最適なソリューションを

進和では、自動車・エレクトロニクス・航空宇宙など幅広いフィールドのモノづくり企業に向け、機械設計を行っています。メカトロシステムセンターの超精密微量塗布装置は、他に類のないクオリティと利便性で半導体業界において高い評価を得ており、航空宇宙機器課ではお客様の要望に沿った大型の治具 (じぐ) を複数納入し、航空宇宙業界に貢献しています。世界のモノづくりを支援するため、お客様の要求を的確にとらえ、最新技術を駆使しながら進和ならではの付加価値を載せて、産業界の未来へつないでいます。

便利な世の中が自分の仕事から始まる

自らの設計をもとに作られた機械が、世界のモノづくりのさらなる発展を促し、自分の技術を通じて社会に貢献できた実感することができます。

機械の設計も、人との関わりから

機械設計職に求められる力は様々ありますが、考え抜く力・コミュニケーション能力は非常に重要です。何か設計する上で問題に直面することが多くありますが、そうした際に様々な角度から問題を捉え、解決する考え抜く力が必要になってきます。また、こうした設計したものの説明や、仕様の詳細を決めるには単に図面を描くだけではなく、社内や関係会社と意見を擦り合わせながら進めなければならないため、コミュニケーション能力が必要となります。

02 情報通信

製造現場へ情報通信技術を

製造業界では、顧客の多様化するニーズに応えるため、生産工場の機械設備や管理システムを IoT により接続し、生産の効率化・無人化を目指すスマート工場が推進されています。このスマート工場に欠かせないのが情報通信の技術です。



生産効率を飛躍的に高める

自動化された生産工場内ではデータや情報がシステム間でやり取りされます。進和では設備やロボットの生産指示情報が工場全体を行き来するためのシステム設計やネットワークの構築を行っています。また、DX (デジタルトランスフォーメーション) を導入し、工場の設備稼働に影響のある兆候を予知し、生産が止まらない工場の実現に向けた支援も目指しています。

産業界の人手不足解消に貢献

工場の自動化によって遠隔操作・制御ができるようになり、現場に足を運ばなくても、オフィスから現場の状況をリアルタイムに確認することが出来ます。また、現場での体力的にきつい作業も、快適な環境から操作することが可能になり、単純作業や重労働の削減によって、女性や高齢者が働きやすい職場環境づくりや遠隔監視システムを導入することで、テレワークやリモートワークなど、多様な働き方に対応した工場の実現が期待できます。

世界のモノづくり工場を幸せに

製造業界では、急速なデジタル化の進展、グローバル競争の激化など目まぐるしく変革が起こっています。多種多様化する顧客ニーズに対応するため、IoT「AI」「DX」などの技術を駆使して、低コスト・高効率・環境配慮といった付加価値を上乗せできるよう常に新しい取り組みを推進し、世界のモノづくりに貢献していく姿勢が必要です。



TELECOMMUNICATIONS



03 生産技術

モノづくりに欠かせない「縁の下の力持ち」

「生産技術」は一連のモノづくりの中で、生産工程に関わる仕事です。製品の大量生産をする際に「高品質」「低コスト」かつ安全を追求しながらより効率的な生産方法を考え、世界のモノづくり工場の生産性を向上させるのが役割です。

PRODUCTION ENGINEERING

お客様の生産性・品質向上をサポート

進和では、多角的に生産技術向上へアプローチしています。進和の事業の核となる金属接合においては、新規プロジェクトに対して新しい接合技術の開発や、量産化を見据えた試作製作を実施。また、海外のグループ工場における新しい生産ラインの立ち上げや工場の増設なども手がけ、現地従業員への技術支援も行っています。

少しの改善でも影響力、貢献度は絶大

会社と現場の間に立つ大変さがありますが、業務改善を達成することで、コストダウンや製品の品質向上、作業者の災害リスクの軽減など、自らの仕事が世の中のモノづくりに大きな影響をもたらすことを実感できます。

知識と経験を貪欲に習得

生産技術の効率化を目指す上で、企業の経営資源であるヒト・モノ・カネには限界があります。そのため、最新技術の追求は避けられません。目まぐるしいスピードで進歩する技術革新について行けなければ、市場で取り残されてしまいます。そのため、生産技術に携わる皆さんには、情報収集のアンテナを高く張って最新の設備やシステムを積極的に学び続け、仕事に取り入れていく姿勢が求められます。



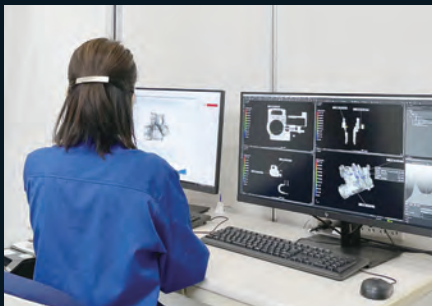
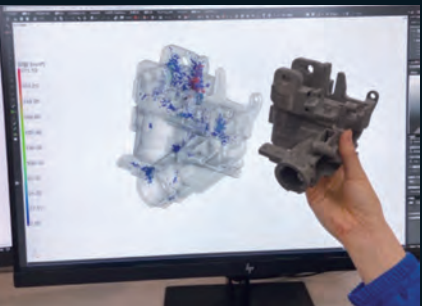
04 品質管理

製品製造の最後の砦

品質管理は、商品やサービスを提供するにあたり、国際規格や国の安全基準などに沿って、安全性や耐久性を検査・検証し、定の品質を備えていることを担保する仕事です。製造現場においては「工程管理」で作業工程を適切な状態に管理し、「品質検証」で製品に不良品がないかを検証し、保証します。



QUALITY MANAGEMENT



最先端技術で、見えない部分も見逃さない

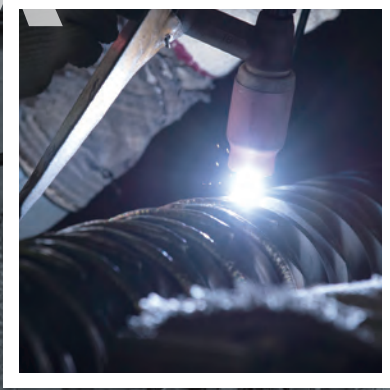
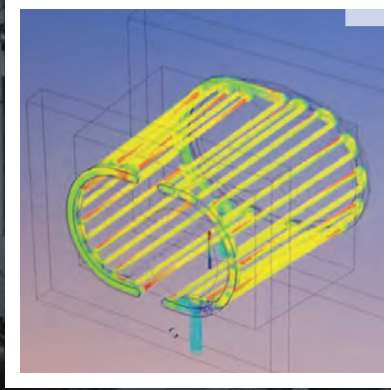
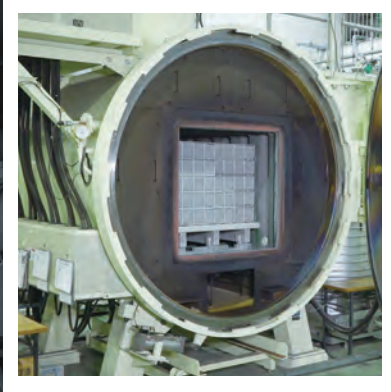
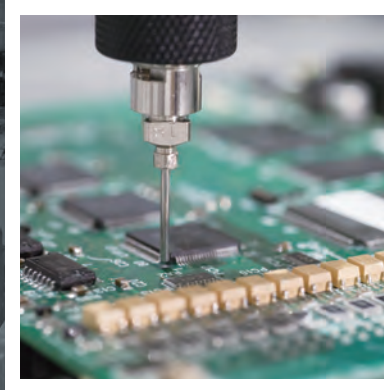
製造業において、製品の品質保証や安全意識が高まっている中、検査工程は重要な役割を担っています。特に自動車や航空機などの最先端産業では、製品を壊さずに品質を確認する「非破壊三次元計測」が不可欠になってきています。進和では、モノづくりに関する開発工程や出荷前の検査を担うX線CT計測機器、カメラやレーザーを用いた外観検査装置の提案やトライ、また装置導入に伴う検査工程の省人化・自動化への取り組みを行っています。

製品の安全安心を保証する守護神

品質管理のチェックを通過したものでなければ、製品が世に出ることはありません。つまり、品質管理が製造現場の最後の砦になります。提供する製品、サービスの評価が直接会社の評価につながるため、小さなミスを見逃すと大きな問題に発展する可能性があります。そのため品質管理の責任の重さは感じますが、製品を通して社会への貢献度も高い、やりがいのある仕事です。

製品があるところに品質管理がある

製造業界では、大手企業はもちろん中小企業も、コストダウンや自社商品の海外展開を目的として、国外に生産拠点を広げています。海外の工場でも日本国内と同レベルの品質を維持していくため、品質管理の重要性はますます求められていきます。進和では、エンジニアリング商社として培った広い知見とネットワークを駆使し、幅広い製品や検査項目に対応できるように外観・内部検査に力を入れ、品質管理を行うお客様の様々なニーズに最適なソリューションを実現していきます。



製造7部門

メンテックセンター

事業の核となる肉盛溶接を主軸に、生産設備・機器の部品補修・復元など設備や機械の整備を行い、モノづくりを支えている。

ジョイテックセンター

ろう付け材料の製造や、ろう付けに係る技術開発、試作品製作から受託加工までサポートし、金属接合技術で、世界のモノづくりに貢献。

スマートファクトリー イノベーションセンター

生産工場において IoT、AI、DX を活用することで自動化を推進し、世界の工場ラインの生産性・品質向上をサポート。

メカトロシステムセンター

“超精密微量塗布”をキーワードに、電子基板に半田、樹脂、接着剤等の材料を塗布するディスペンサー装置「Quspa」を企画設計し、販売を行う。

技術部 航空宇宙機器課

国産ロケットや航空機など、航空宇宙産業において溶接工程で必要となる治工具の設計・製作、およびメンテナンス事業を実施。

技術部 計測技術課 進和メトロロジセンター

最先端計測技術である X 線 CT 計測機器と、インライン全数検査システムを軸とし、装置販売や受託計測サービスなど幅広く行っている。

技術部 エンジニアリング課

金属接合技術の研究・開発・改善を通じて、新たな技術開発に取り組む。特に銅などの非鉄金属加工の需要に対応するため、レーザー設備などの最先端設備を導入し、お客様の開発支援、設備導入支援を手掛けている。

製造7部門の仕事領域

	開 発 ▶	機械設計 ▶	試 作 トライ	製品導入 ▶	システム設計 ▶	受託加工 受託測定	製造製作 ▶	品質管理 品質保証	アフター フォロー
メンテックセンター									
ジョイテックセンター									
スマートファクトリー イノベーションセンター									
メカトロシステムセンター									
技術部航空宇宙機器課									
技術部計測技術課									
技術部エンジニアリング課									